

## 平成26年度前期授業評価アンケート結果報告

### 1. 趣旨

極域科学専攻が開講している授業科目の優れた点、問題点、改善すべき事項等について、学生の意見や意識を把握し、カリキュラムや授業方法等の教育課程の改善に資するため、授業評価アンケートを実施する。

### 2. アンケート実施方法

極域科学専攻生にアンケート用紙を個別配布（wordで配布）し、電子データで回収。

### 3. 回答率等

- 1) 対象開講科目数 12科目（ただし極域科学特別研究・極域科学特別演習、他専攻開講科目は除く）
- 2) 履修者数 7名
- 3) 期待回答数 20件
- 4) 回答数 11件
- 5) 回答率 55%（回答数（11）／期待回答数（20））×100

### 4. 集計結果と個別分析

評価基準は各項目共通で次のとおり

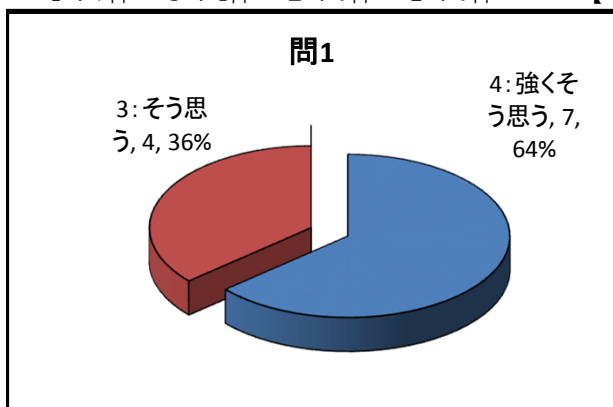
4：強く思う 3：そう思う 2：そう思わない 1：全くそう思わない

なお、無回答及び該当無しという回答については、集計の対象からは除外した。

コメントは回答結果をもとに事務局が原案を作成し、専攻長が校閲した。

問1. 授業内容はシラバスと対応していましたか。

4：7件 3：4件 2：0件 1：0件 【平均3.64】

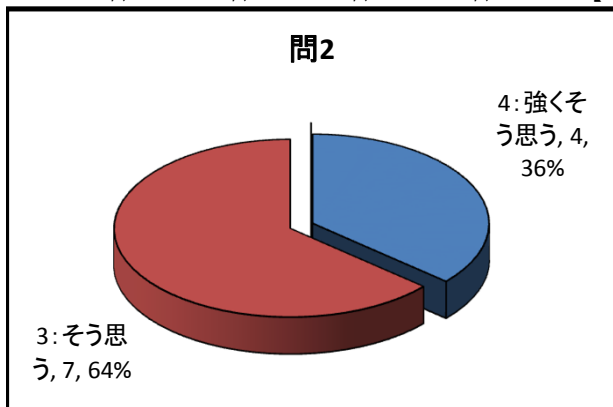


(コメント)

4と3を合わせて11件、100%であった。授業内容はシラバスとほとんど対応しており、シラバスの内容も周知できていると考えられる。

問2. 授業の難易度は適切でしたか。

4 : 4件 3 : 7件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.36】

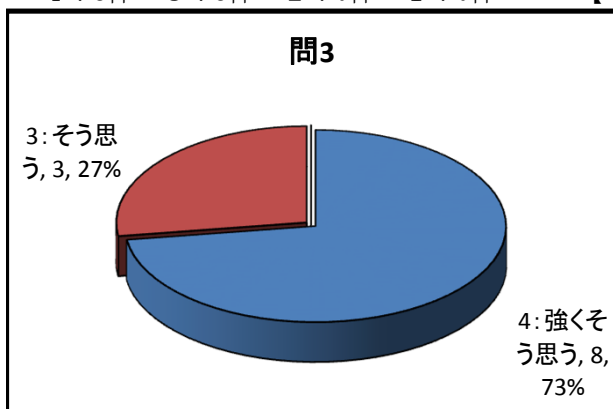


(コメント)

4と3をあわせて11件、100%であった。授業の難易度は適切だったと考えられる。

問3. 授業により知的な刺激を受け、さらに関連する分野を学んでみたいと思いましたか。

4 : 8件 3 : 3件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.15】

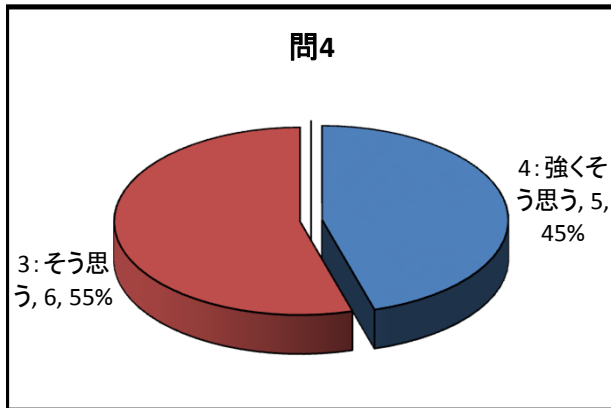


(コメント)

4と3をあわせて11件、100%であった。授業の内容は適切だったと考えられる。

問4. 視聴覚・情報機器等を使用する授業において、その使い方は効果的でしたか。

4 : 5件 3 : 6件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.45】

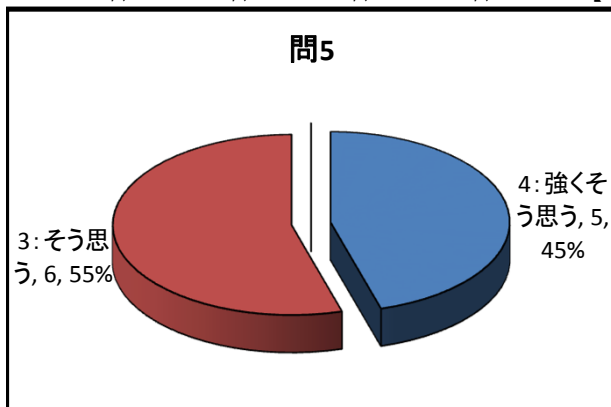


(コメント)

4と3をあわせて11件、100%であった。機器の使用は十分効果的だったと考えられる。

問5. テキストやプリントなどの教材は授業内容を理解するのに役立ちましたか。

4 : 5件 3 : 6件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.45】

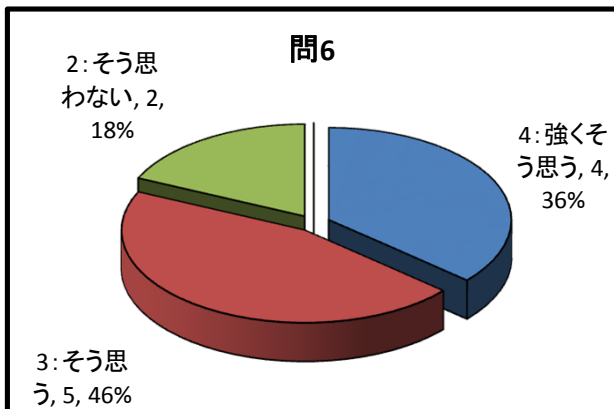


(コメント)

4と3をあわせて11件、100%であった。授業の教材の使用は適切だったと考えられる。

問6. ノートやメモは取りやすかったですか。

4 : 4件 3 : 5件 2 : 2件 1 : 0件 【平均3.18】

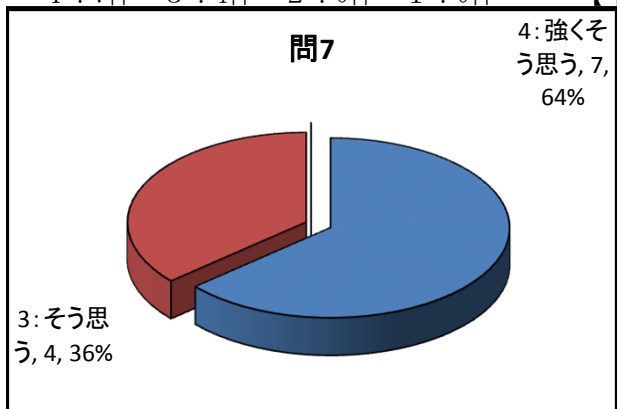


(コメント)

4と3を合わせて9件、2が2件であり、おおむねノートやメモを取りやすい授業であったと考えられる。

問7. 教員の声、話し方は聞き取りやすかったですか。

4 : 7件 3 : 4件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.18】

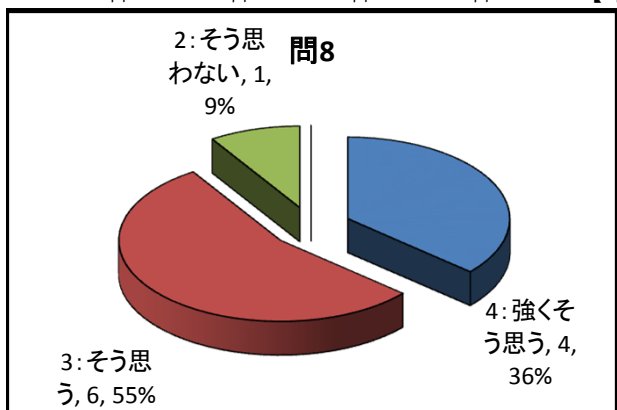


(コメント)

4と3をあわせて11件、100%であった。聞き取りやすい声や話し方だったと思われる。

問8. 重要な箇所が強調されるなど、授業の説明はわかりやすかったですか。

4 : 4件 3 : 6件 2 : 1件 1 : 0件 【平均3.27】

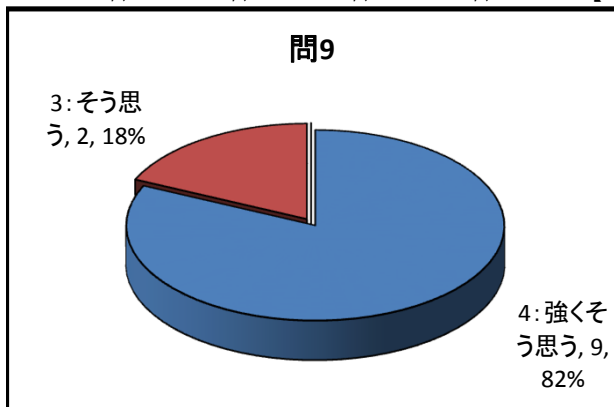


(コメント)

4と3の回答を合わせて10件、2が1件であった。授業の説明はおおむねわかりやすかったと考えられる。

問9. 教員は学生に授業参加（発言、質問）を促し、質問や討論に十分に対応していましたか。

4 : 9件 3 : 2件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.82】

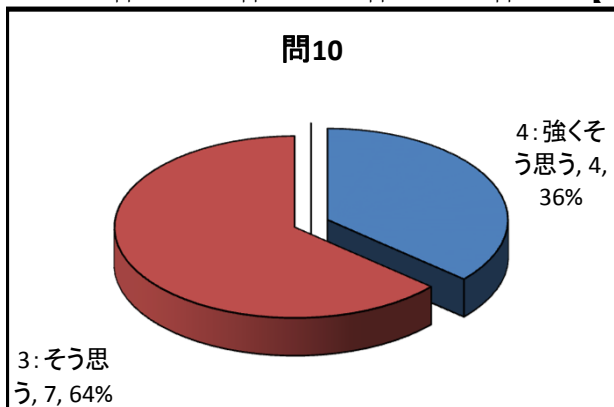


(コメント)

4と3をあわせて11件、100%であり、十分に対応していたと考えられる。

問10. 授業の進度は適切でしたか。

4 : 4件 3 : 7件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.36】

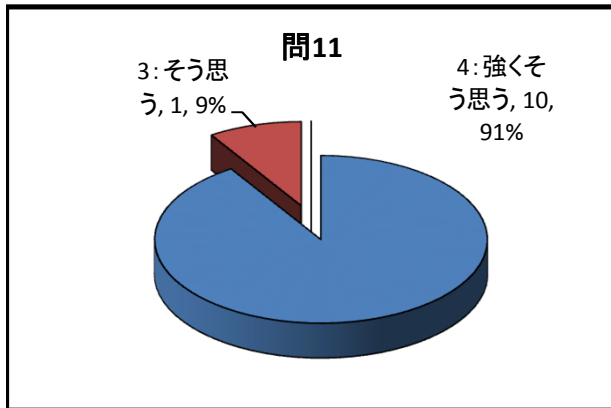


(コメント)

4と3の回答を合わせて11件、100%であった。授業の進度は適切であったと考えられる。

問11. 授業に対する教員の熱意を感じましたか。

4 : 10件 3 : 1件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.91】

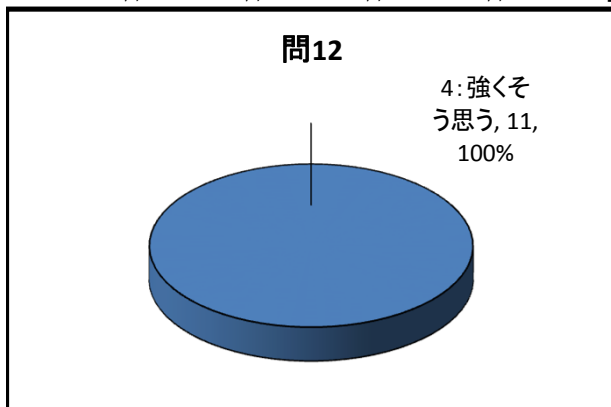


(コメント)

4と3の回答を合わせて11件、100%であった。学生は十分に教員の熱意を感じていると考えられる。

問12. 総合的に判断して、この授業に満足しましたか。

4 : 11件 3 : 0件 2 : 0件 1 : 0件 【平均4.00】



(コメント)

4のみ、100%であり、学生が十分に授業に満足していたと思われる。

問13. この授業で良かった点、また改善すべき点、その他特記事項があれば、記入してください。

回答数 9件

・今後の研究で有用なソフトウェアの使用法やデータの検索方法などについてもご教授頂き、実践的な講義であったように思う。

・式変形は一度やってきてほしいです。

・工学的な側面と物理学的な側面とを合わせてもった講義だったので、その点では両方の知識と工学（技術）の実際的な応用による物理学的な研究結果がいかんにしてに得られるのかという視点での勉強ができてよかったと思う。

・授業の準備はしっかりしているのですが、先生が忙しく日程が直前で変更されることが多々あったので、もう少し前に連絡がほしかったです。

・先生が一生懸命準備されていました。ですが、演習が少なくもう少し演習があったほうが理解がしやすかったと思います（自分で勉強しろという話でもありますが。）

・南極・北極観測の歴史、現状が学際的に概観できたことは基本知識として有意義であると思われる

・授業が始まる前の『最近自分が興味がある科学的なトピックスの説明』は、毎週考えるのが大変でしたが鍛えられました。概念的な内容が多く、超高層物理学入門ということでは大変理解しやすかったです。

・極地研での他分野での先端的な研究についての知見を得られたことは、所属としての一体感を醸し出すうえで意味があると思う。また、それぞれでの研究での方法論や論理構成については参考となるが多かった。

・授業の時間内に終わるくらいの分量の説明にしてほしい。私だけかもしれないが、時間が長いと集中力が持たない。

#### 4. 平成26年度前期授業評価アンケートのまとめ

##### (1) 授業内容について（問1～問3）

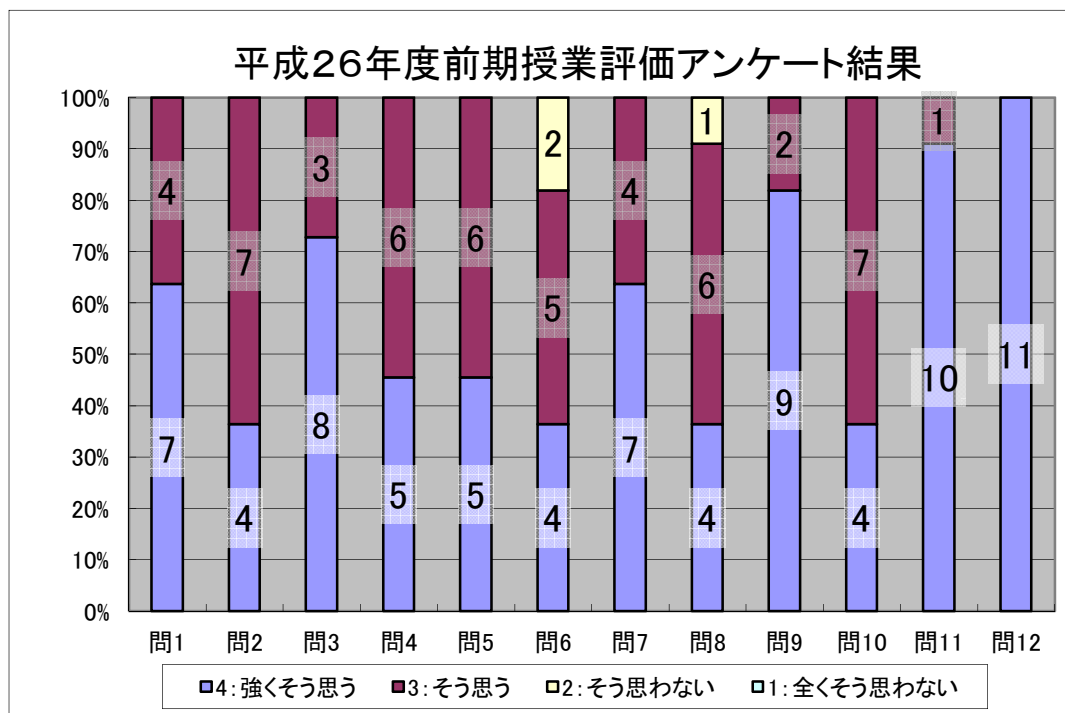
いずれの項目においても、4及び3の肯定的な評価が100%となり、極めて良い結果だと考えられる。

##### (2) 授業方法について（問4～問11）

2の評価もあったが、ほとんどの項目において4及び3の肯定的な評価であった。

(3) 総合評価 (問12～問13)

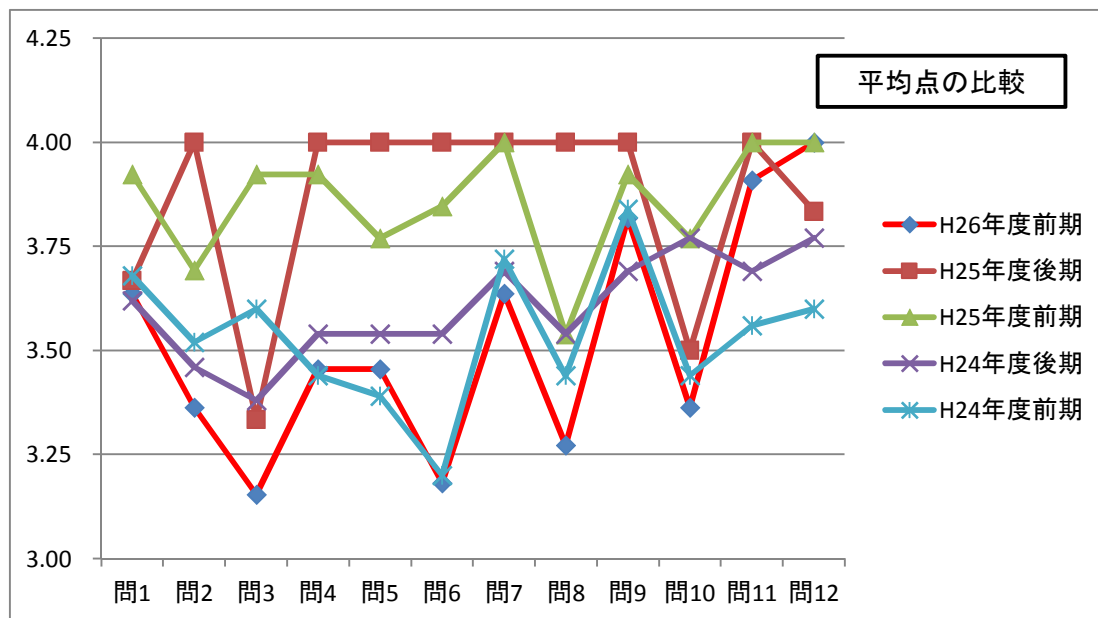
問11の回答において3、4の肯定的な評価が100%、問12の回答においては4の評価のみであった。十分に満足できる授業を提供できたと考えられる。





(4) 過去の授業評価との比較及びまとめ

過去の平均点と比較して、3が多く、4が少ないため平均点が下がっている。総合的には満足度は高い。



5. 今後の対応

平成26年度後期においても同様のアンケートを行い、年度ごとの比較を行っていく予定。  
今回の調査結果については、専攻委員会及び学生へ回付し、極域科学専攻HPに掲載する。